

近未来の介護ロボット。

日本は4人に1人が高齢者。世界に類のない超高齢社会のために、介護ロボットをはじめ、さまざまな機械が研究され、一部はすでに実用化されています。お年寄りを支え、見守る心と電気力は介護に欠かせない大切なエネルギーです。

※平成24年版「高齢社会白書（内閣府）による

大きな男性の
介護のときに助かります。



筋肉センサー

介護に必要なパワーを検知する。

これを着ると
ひじ・ひざ・腰などの
力がパワーアップ!

制御システム

コンピューターや電気回路などを収納。

最先端技術が
使われています。

小型エアポンプ

圧縮空気をひじとひざのエアバッグに送り、介護のためのパワーを与える。

ポータブル充電電池

パワーアシストスーツの動力源。

エアバッグ

ひざ関節に
パワーを与える。

「パワーアシストスーツ」
写真協力:神奈川工科大学/チームアトム



問題

青森県内の老人施設でも電動リフト付き自動車や介護ロボットなどが活躍しています。

車いすでも、らくらく乗車できる電動リフト

青森市の「藤の園」では「ウエルキャブ」（電動リフト付き自動車）が動いています。「車いすに座ったまま乗り降りできるので、非常に楽です。自家用車にもほしい」と、お年寄りに好評。スタッフも「安全にお世話できて、こちらも安心です」と語っています。

撮影協力:社会福祉法人藤聖母園 特別養護老人ホーム「藤の園」



お年寄りの心をいやすアザラシ型ロボット

アザラシ型ロボット「パロ」は、「ほえみ三戸」の人気もの。多数のセンサーや人工知能を持つ「パロ」はペットと同じ効果があり、「めんこいねえ」と話しかけると「キュウ」と鳴いたり、愛らしいしぐさをして、お年寄りに安らぎや楽しさを与えています。

協力:社会福祉法人仁正会 老人保健施設「ほえみ三戸」
写真提供:大和ハウス工業株式会社
〔「パロ」は株式会社知能システムの登録商標です。〕



お年寄りの介護ではどんなことが大変なのか、周囲の大人に聞いたり、みんなで話し合ってみましょう。近くの老人施設を訪問して、どんな介護機器や設備があるのか、調べてみましょう。また、これからの老人介護はどうすればよりよくなるのか、考えてみましょう。